MYU GUIDE 2022

宮城大学 大学案内 2022

Contents

MYU TOPICS
Mission, Philosophy, History
President's Message
Freshman Core Classes
Department Studies
School of Nursing
Nursing
School of Project Design
Business Planning
Regional Sciences
Value Creating Design
School of Food Industrial Sciences
Integrative Studies of Plant and Animal Production
Food Science and Business
Global Exchange
Graduate School
MYU CAMPUSES
ONLINE OPEN CAMPUS
Routes to Campuses

社会環境が急速な変化を続ける今，
多様な世界の中で助け合い，地域と向き合い続ける重要性が増しています。
地域や企業と連携しながら，地域課題を解決するためにどのようにすればよいのか。
あなたは国際社会や地域とどんなふうにかかわり，どんな生き方をしたいですか？
そんな問いに応える実践的なプログラムが，宮城大学には豊富にあります。
挑戦する一人ひとりを応援する大学であるために。
新たな可能性を，一緒に探していきましょう。

Contents

03 MYU TOPICS
11 建学の精神・大学の理念・沿革
12 学長メッセージ
13 フレッシュマンコア
17 学群・学類での学び
18 看護学群
19 看護学類
24 事業構想学群
25 事業プランニング学類
29 地域創生学類
33 価値創造デザイン学類
38 食産業学群
39 生物生産学類
43 フードマネジメント学類
47 国際交流・海外ネットワーク
48 大学院
データ（学生数／入学金・学費・奨学金）
49 キャンパス紹介
50 オンラインオープンキャンパス・アクセス

MYU TOPICS

2020–2021 / MIYAGI UNIVERSITY TOPICS　みなさんにお届けしたい，宮城大学の旬な話題をご紹介します。

TOPICS 01

東北にデザインの拠点をつくる，デザイン研究棟が大和キャンパスにオープン

デザインを通して，新しい価値をどう生み出していくか。日々変化する社会環境を観察し，多様な課題を解決へと導く論理的思考力と表現力，“デザイン思考”は，宮城大学で学ぶ全ての学生に必要とされる考え方です。ビジネスにおける事業のデザイン，社会のデザイン，生活に関わるデザインなど3学群を挙げてこれらを担う人材を育成するため，その象徴として2020年6月にデザイン研究棟が完成しました。施設内は，教員研究室に隣接した「オープンスタディ」や，専門的な研究・制作のための機材を備えたラボがあり，教員と学生が一緒にデザイン研究に取り組める環境となっています。学群を超えた知の接続／地域社会との継続的な共創／学外の先進的な知見の獲得を目指して，企業との共同プロジェクトや，デザイン教育・研究を展開し「デザインスタディセンター」として，宮城大学は東北の新たなデザインの拠点をつくります。

TOPICS 02

震災後を生きる人々の記憶を未来へと継承する2つの展示を実施

震災から10年を迎えた南三陸町で，中田研究室・友渕研究室の学生による2つの展示が行われました。「ながしずの漢（おとこ）たち」は，美しい樹々と海に囲まれた長清水集落に生きる人々が，震災直後から現在のこと，これからどう生きるかを語る姿をモチーフに，写真やオブジェに展開するアートワークです。「ふるさとの記憶2020」は，復旧工事を終えようとする志津川地区で，震災前の街を復元した模型と，震災直後から変わりゆく街の姿を定点映像で展示し，訪れた住民の声を記録するワークショップです。両展示作品はデザイン研究棟でも展示が行われ，さらにこれからの10年を生きる世代に，震災と地域の記憶を継承していく機会となりました。

TOPICS 03

宮城県と宮城大学が協働，「新・宮城の将来ビジョン」表紙デザイン案を考える

宮城県の2021年度から10年間に及ぶ県政運営の基本的な指針をまとめた「新・宮城の将来ビジョン」表紙デザイン案を，価値創造デザイン学類の学生たちが提案しました。学生たちは，産業や子育て・地域社会づくりや県土づくりなどの様々な課題と，県民から求められる暮らしのあり方といった，宮城県が掲げているビジョンそのものを深く理解するプロセスを経て，様々な表紙デザイン案を作り上げました。案は，新・宮城の将来ビジョンを策定した震災復興政策課（現：総合政策課）にプレゼンテーションされ，“今後10年間の県政運営を想起させる”1案を宮城県知事が選定。「新・宮城の将来ビジョン」の表紙として採用されました。

TOPICS 04

食産業政策研究室と伊豆沼農産が目指すICT 農福連携

障害者等の農業分野での活躍を通じて，自信や生きがいをもてる社会参画を目指す農福連携の取り組みとして，伊豆沼農産と食産業政策研究室がICT在宅農福連携のモデル実証実験を実施。人手不足等で対応できない農業分野の業務に，外出困難な重度身体障害者が分身ロボットOriHimeを通じて自宅から遠隔で従事して，仙台三越にて伊豆沼農産のハムを販売しました。障害者等の就労や生きがいの機会創出のみならず，担い手不足や高齢化が進む農業分野での新たな人材創出につながる可能性もあります。販売会場を訪れた親子連れが笑顔でOriHimeを通じた会話を楽しむ姿が見られ，会場での商品売り上げは対前年の120%を記録しました。

TOPICS 05

陸上養殖が可能なクローバーウニの実用化へ公開セミナーを実施

地方自治体の水産部門や，水産分野の食品を扱う企業を対象に「クローバーウニの実用化に向けた公開セミナー」を太白キャンパスで開催。クローバーウニの取組紹介や試食会，参加者との意見交換を行いました。研究に取り組んだ食産業学群の片山亜優助教は，「磯焼け」対策としてウニを陸上で養殖できる技術開発のなかで，クローバーをウニに食べさせると「α-リノレン酸の含量が多い」ウニに成長することを発見。共同研究者である九州大学栗田准教授と特許出願し，株式会社フィッシャーマン・ジャパン・マーケティングとともに，市場価値に見合った，マメ科植物によるウニの蓄養技術の確立を目指しています。

TOPICS 06

看護学を基礎とした科学的な思考と支援を学ぶ養護教諭教育課程

看護学群看護学類の教育課程の一つである「養護教諭教育課程」は，看護学を基礎とした科学的思考と支援方法を学び，幼・小・中・高等学校や特別支援学校等で養護教諭として活躍するための知識や技術を修得する課程です。2020年度には，「東日本大震災から学ぶ学校保健・学校安全」をテーマに，東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市立大川小学校と仙台市立荒浜小学校にてフィールドワークを実施。両地を実際に訪れたうえでグループディスカッション等を行い，教職員・子どもたちとの普段からの関係づくりや救急体制の構築など，災害発生時の養護教諭の役割等について学びました。

TOPICS 07

地域連携センターが協働した利府町の公共建築 tsumiki でグッドデザイン賞を受賞

利府町と本学地域連携センターとの様々な協働を契機に，ユニットハウス工法と住民参加を重視してつくられた利府町の公共建築tsumikiが，2020年度のグッドデザイン賞を受賞しました。全国的に施設の統廃合や維持管理が課題となるなか，行政・大学・NPO・市民等の協働により，膨大な建設費とランニングコストを抑え，利用しやすく地域性が高い公共空間デザインを実現した点が評価されました。コンセプトづくりには風見正三教授が，計画づくりや地域住民とのワークショップ等には佐々木秀之准教授が関わったほか，利府町から本学に出向した櫻井貴徳氏や本学のデザイン教育に携わる渡邉武海氏など，多くの本学関係者と学生が関わりました。

TOPICS 08

東松島市の《森の学校》が日本不動産学会長賞および日本環境共生学会２部門で受賞

東日本大震災の津波被害を受けて公立小中学校の再建が急務となった宮城県東松島市では，行政や市民，多様な専門家の参画により「森の学校」をコンセプトとする宮野森小学校の再建が決定。その基本構想・基本計画の策定に風見正三研究室が携わりました。自然・地域との共生をテーマとし，高台移転・統廃合を経て小学校が再建されたコミュニティデザインの取り組みは，2017 年度のグッドデザイン賞を受賞。2020 年度には，第 26 回日本不動産学会長賞のほか，日本環境共生学会「環境活動賞」「著述賞」の 2 部門を受賞。新しい学校の在り方と，新しい教育を創造するモデルともなり得る「創造的復興」の実践等が高く評価されました。

TOPICS 09

風間逸郎教授が新型コロナウイルス感染症回復後の後遺症に関する研究を英文雑誌に発表

看護学群の風間逸郎教授は，「新型コロナウイルス感染症回復後の後遺症」に関する知見を英文雑誌に発表しました。感染症回復後の患者からは，肺の細胞が炎症で傷つき硬くなる「線維化」が報告されています。本研究では，アレルギー反応などに見られる肥満細胞の増殖が，臓器の線維化にも深くかかわっており，既存の治療法が感染症回復後の後遺症の原因となる肺の線維化を改善する可能性があることを明らかにしました。

TOPICS 10

元木康介助教と石川伸一教授らが昆虫食普及へ向けて国際共同研究

昆虫食は，将来的に不足が予想される動物性たんぱく質の代替食品として世界的に注目されていますが，心理的な抵抗を示す人が多い現状があります。食産業学群の元木康介助教と石川伸一教授らは，海外の大学との共同研究により，「食環境」（誰と，どこで食べるか）によって昆虫食の摂食意向が変わることを示しました。この成果は，昆虫食普及のための適切な食環境づくりの指針になると期待されています。

TOPICS 11

地域の人びとと共に課題解決ができる人材の育成を

コミュニティ・プランナープログラム

地域での体験学習から，地域本来の良さを活かしたコミュニティづくりの技能を修得するコミュニティ・プランナープログラム。2019 年度は，富谷市しんまち地区や石巻市荻浜地区をはじめ 4 つの実習先で講義を行い，フィールドワークやグループ演習を通して地域資源の利活用と交流促進に向けたアイデアを検討。2020 年度は，坪沼地区の栽培指導型市民農園の PR 動画や収穫野菜を使ったレシピカードを制作したほか，道の駅おおさきと連携したモニターイベントを企画・実施。VISIT 東北と連携し，白石市をフィールドに「関係人口の拡大」の視点から企画立案のプロセスを学んだり，「ふうどばんく東北 AGAIN」と連携しマルシェイベントに出展しました。

TOPICS 12

地域創生学類で学ぶ学生が，復興庁主催「復興ビジネスコンテスト 2020」で 2 部門受賞

復興庁が主催する「新しい東北」復興ビジネスコンテスト 2020 において，地域創生学類石田研究室の学生が提案した「大切な人へ新しい時代の贈り物，防災定期便。」が学生アイデア部門優秀賞（復興大臣表彰）を，佐々木研究室の学生が提案した「『宮古の真鱈』を使用した燻製品『MIYACOD』の商品開発」が協賛企業賞（東洋ワーク Gr. 賞）を受賞しました。

TOPICS 13

卒業生の中村圭吾さんと須田義人教授が日本繁殖生物学会大会優秀発表賞受賞

食産業学部卒業生の中村圭吾さん（東京大学大学院農学生命科学研究科研究生）と，食材開発の観点からウシやブタ等の繁殖能力を遺伝的に改良する研究を行う食産業学群の須田義人教授が，「免疫と胚の着床」に関する研究で第 113 回日本繁殖生物学会大会優秀発表賞を受賞。研究成果は，ウシの受胎率の向上に寄与するとともに人の不妊治療や高齢出産を効率良くかつ安全に行うための技術開発にも繋がると期待されています。

TOPICS 14

対話的かつ主体的学びを新しい学修スタイルに対応したラーニング・スペースの充実

大学で「学ぶ」ことは，教員の「Teaching」を受けるのみならず，自ら深めて学ぶ「Learning」を通して達成されます。こうした対話的かつ主体的な深い学び（アクティブ・ラーニング）に学生が取り組めるよう，大和・太白両キャンパスにその環境を整えました。授業の課題や各自の取り組みを仲間と話し合いながら学修できる「スチューデントコモンズ」，多文化理解，英語学習，海外留学相談ができる「グローバルコモンズ」，図書館と行き来しながらの探究的活動が可能な「ディスカバリーコモンズ」。学生同士が学び合える環境をより進化させました。宮城大学では新しい学修スタイルに対応した教育研究環境を，今後も一層充実させていきます。

TOPICS 15

チーム医療や多職種連携に必要な能力を養う専門職連携教育の体験学習型カリキュラム

専門職連携教育（IPE:Interprofessional Education）は，チーム医療や多職種連携に必要な能力を養う看護学群の体験学習型カリキュラム。東北医科薬科大学薬学部・大学病院のほか，地域の病院とも連携しています。病院でのクリニカル IPE では薬学生と看護学生が同じ患者を受け持ち，合同模擬事例検討会では混合グループで支援目標や方法を議論。多職種連携や各専門性を実践的に学びます。

TOPICS 16

体験的学修プログラム「リアル・アジア」でグローバルコミュニケーション能力を

「リアル・アジア（オーストラリア）」では，体験的学修を通じてグローバルコミュニケーション能力を身につけ，世界への関心を育みます。約 2 週間のプログラムを通し，課題発見・解決能力，英語コミュニケーション能力等を養います。渡航前の事前研修では，個々の知識や経験をもとに現地の観光ビジネスに SDGs（持続可能な開発目標）の視点で提案するなど，PBL（課題解決型学習）を行います。

TOPICS 17

農業にイノベーションを食の未来を創造する人材育成“生物生産学類”誕生

地球温暖化，担い手不足，消費者ニーズの多様化，さらにはコロナ禍を契機とした消費生活の変化…。今，毎日の食を支える農業は大きく変革の時を迎えています。食産業学群では，農畜水産物生産のイノベーションで食の未来を創造する人材を育成するため，食資源開発学類を改組し，新たな学類を設置します。食材資源のための生命の理解からゲノム情報を利用した農畜産物の品種改良，環境に配慮した持続可能な農業生産，IoT や AI を活用した次世代農業，水産資源の持続的利用をめざした水産養殖，新しい生産技術の経営評価など，食の生産にかかわるあらゆる分野の総合的な学びを提供します。2022 年 4 月，“生物生産学類” 誕生です。

TOPICS 18

明日を見通す力を養い4年間の学びを深める新しいカリキュラム

基盤教育では，将来にわたって「明日の姿を見通す力」を養うため，4 年間の学びの基礎となる「フレッシュマンコア」をより深い学びに洗練させ，これからの社会で求められる AI やデータサイエンスへの対応力を高めるコンピュータや数理統計に関するプログラムを強化。また，地域におけるリーダー育成を目指すコミュニティ・プランナー，起業スキルを学ぶアントレプレナーシップ科目の設置など，地域や社会の将来を切り拓くスキルや，幅広く時代に応じた教養を身につける新しい教育プログラムを導入します。また，各学群の専門教育では，実学志向のもと，急速に高度化する科学技術・変化する社会課題を見据えた実践的かつ専門力を高める新しいカリキュラムが始まります。

ホスピタリティとアメニティの究明と実現

Mission

建学の精神

快い生活環境（アメニティ）に身を置き，
心温まる人間関係（ホスピタリティ）に
囲まれていることは成熟社会に生きる万人の願いであり，
このような地域社会を実現させるために
「ホスピタリティとアメニティの究明と実現」を目指す。

この建学の精神に則り，宮城大学では，社会の要請に応えるために
関連するあらゆる学問や技術の成果を総合化する「高度な実学」
に基づく教育研究を推進することとし，次のように大学の理念を定める。

Philosophy

大学の理念

高度な実学に基づき，
豊かな人間性，高度な専門性及び確かな実践力を身につけ，
グローバルな視点で地域社会の発展に貢献できる人材を育成するとともに，
学術・文化の向上と豊かで活力のある地域社会の形成に寄与する。

豊かな人間性　先人たちの考えや相手の価値観を尊重し，
知性と感性を涵養することで自らの人間性を磨いていく。

高度な専門性　関連するあらゆる学問や技術に関心を寄せ，自らの専門性を高め，
時々刻々と変化する社会にしなやかに，かつ，柔軟に対応できる力を身につける。

確かな実践力　地域に根ざし，グローバルな視点で自ら主体的に考え，
強い意志を持って実践していく。

沿　革　History

平成 5 年	4 月	宮城県企画部県立大学設置準備室設置
	6 月	宮城大学創設準備委員会設置
	7 月	宮城県総合計画の戦略的プロジェクトの一つとして，県立宮城大学の整備を明示
平成 8 年	12 月	宮城大学条例制定／宮城大学設置認可
平成 9 年	4 月	宮城大学開学［看護学部・事業構想学部］
平成 13 年	4 月	宮城大学大学院（修士課程）設置［看護学研究科・事業構想学研究科］
		宮城県農業短期大学 4 年制化基本構想検討委員会を設置
		（宮城県農業短期大学創立は昭和 27 年）
平成 17 年	4 月	宮城大学食産業学部設置
平成 20 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［事業構想学研究科］
平成 21 年	4 月	公立大学法人宮城大学設立
		宮城大学大学院（修士課程）設置［食産業学研究科］
平成 22 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［看護学研究科］
平成 25 年	4 月	宮城大学大学院（博士課程）設置［食産業学研究科］
平成 29 年	4 月	宮城大学学部改組により学群・学類制へ移行
令和 2 年	6 月	大和キャンパスにデザイン研究棟を新築

新たな視点を開拓する，実学の拠点として

社会は新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延に見舞われ，大変な困難に直面しました。2020 年 4 月の緊急事態宣言発令により大学も閉鎖を余儀なくされ，本学では遠隔授業による年度開始となりました。他学では遠隔授業の受講環境が整わないところもありましたが，本学では全学生が学修用の PC を所持しているためにスムーズに開始することができました。これと同時に，アフターコロナも見据えて，ウイズコロナにおける安全な学修環境を整えるべく環境整備に着手し，後期は科目の特性に応じて遠隔と対面を組み合わせたハイブリッド方式による授業を行いました。

新型コロナウイルス感染症は多くの社会課題を顕在化させ，それに伴って社会変革が加速すると言われています。中でも地方への人口移動と社会のデジタル化の加速が新たな潮流として現れ始めています。

農業などの第一次産業もこの動きとは無縁ではありません。農山漁村の高齢化，食糧生産能力の減退への対応は待ったなしで，持続可能な第一次産業への変革が急務です。このような状況に対応して，食産業学群では 2022 年度から食資源開発学類を生物生産学類に改組します。ここでは，第一次産業を再び基幹産業として飛躍させる人材となるよう，スマート化，食農ビジネス，ゲノム育種など新しい視点を取り入れた学際的で柔軟な学びができる新しいプログラムを導入します。さらに，2017 年度から全学において充実を図ってきた大学での学びの土台となる基盤教育について，2022 年度からは，社会からの要請の変化を捉えて，AI やデータサイエンスへの対応力を高め，また，地域に根づいた人材育成を強化するカリキュラムを導入します。

2020 年 6 月には，大和キャンパスとしては開学後初めて建設した建物である「デザイン研究棟」が竣工しました。これから急激な変革が余儀なくされている社会では，今日の事業を漫然と継続していくだけでは企業の存続は困難であり，新たな仕事をデザインし開拓していく精神を持った人材が求められます。デザイン研究棟は，全ての学生にデザイン思考を身につけてもらいたいと願い，その中核となることを企図して運営をしていくことにしています。

宮城大学は，開学以来，実学を尊重し，実践的な教育を行うことを信条として，これからの社会で即戦力として通用し，社会環境の変化に対応できる能力を持った挑戦意欲旺盛な人材の育成に取り組む大学です。

理事長兼学長 川上伸昭

1・2年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群

フレッシュマンコア［全学群共通：必修］

「フレッシュマンコア」科目で大学での学びの基礎を築きます。強固な知的基盤の上に専門の学修を積み上げましょう！

技法知	学問知	実践知
リテラシー	知識×考え方	実践力
全ての基盤となる言語スキル，数量スキル，情報スキルを身につけます。	基本的なトレーニングを通して思考力を高めます。	「自己理解」「他者理解」を深めながら実践力を養います。

フレッシュマンコアとは，1・2年次で学ぶ基盤教育の主要な科目群であり，

全学共通の基盤教育必修科目群です。

豊かな人生を送る上で必要な「技法知」「学問知」「実践知」を養います。

専門分野への学びに繋げていくだけに留まらず，その先を見据え，

自分の未来を切り拓いていくための指針を，

フレッシュマンコアを中核とする基盤教育を通して身につけていきます。

基盤教育群長　平岡善浩教授

将来にわたって「明日の姿を見通す力」を身につけ，自分の未来を切り拓くための知的基盤を養う「基盤教育」

大規模な自然災害や世界的な疫病の流行，ビッグデータやAIを駆使した社会イノベーションなど，私たちを取り巻く世界は，これまでより変動的で，不確実で，複雑で，曖昧な世界になりつつあるようです。私たち一人ひとりが人生を豊かにし，かつ社会全体がより良い方向に向かうためには，各自が将来にわたって「明日の姿を見通す力」を身につけ，自分の未来を切り拓いていくことが大切になります。宮城大学の学生は4年間の学びを通して，自ら取り組むべき課題を発見し，それを解決に導く方法を考え，主体的実践的にアクションを起こす，そのための気概と能力を獲得していきます。その気概と能力を発展させるための知的基盤を養うのが「基盤教育」です。宮城大学の全学生に向けて開講される基盤教育科目は，「技法知」「学問知」「実践知」を養う基礎となるフレッシュマンコア科目に加え，語学，自然科学，社会科学，健康科学，芸術・人文学などの科目群があり，これまで人類が蓄積してきた「知」を俯瞰し，掘り下げていく科目が開講されています。これらの「知」は，仕事や生活の一場面で「私（たち）はどうすべきなのか」という決断を迫られ，不安や責任に押しつぶされそうなときに，一歩踏み出す指針と勇気を与えてくれるでしょう。広く深く「知」を探求し，「新しい知」を発見し獲得していくことは，自分の人生を豊かにするとともに，自由にそして強くしなやかに生き抜くコツでもあるのです。

幅広く，そして偏りなく，多様な学びを積み重ねていきます。

4 年間は長いようで，あっという間に過ぎてしまいます。4 年後の成長した自分をイメージして大学生活をスタートさせることが重要です。そのためには，受験勉強とは違う大学での学びの作法を身につけることと，自分と社会を見つめることで自分の将来に見通しを持ち，自身の大学での学びの意義づけを自ら行うことが必要です。そのためにフレッシュマンコアがあります。

スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ

フレッシュマンコアの中で最も基礎になる導入科目で，大学での学びに取り組むための基礎的な知識や技術を修得したり，将来を見据えて受動的な学びから能動的な学びへの転換を促したり，宮城大学生としての意識を醸成したりするための科目です。
「技法知」「学問知」「実践知」を獲得していくために必要な，情報の収集や整理，分析の方法，自分の考えを客観的論理的に思考し表現する方法，他者理解も含めたディスカッションやディベート，コミュニケーションの方法などを学びます。
また，大学進学時の夢や希望を背景に，自己分析を通して自分を客観的に見つめなおし，実社会で活躍されている職業人の方々のお話を伺いながら，自分の将来像を描いていきます。
さらに，各学群で学ぶ専門的内容について社会的な意義も含めて紹介し，宮城大学で共に学ぶ学生として社会へのまなざしを共有し，本学での学びを将来に繋げていくことも目的としています。

コンピューターリテラシー
情報化社会と技術
基礎統計学Ⅰ・Ⅱ

コンピューターの発達やインターネットの普及で，生活に関わるデータが大規模に集積されています。これらを利活用し生活を豊かにするには，AI やプログラム，統計学の知識に立脚するデータサイエンスの修得が必要です。その基礎を必修として学びます。

Student Voice

自己と向き合う「フレッシュマンコア」の科目を通し，見えてきた進路

英語や数学などの基礎科目では，学生同士で話し合う機会が多く与えられ，考えを共有しながら基礎的な力を身につけることができました。1 年次の基盤教育では，フレッシュマンコアに基づき「学びとは何か」「自分はどんな人間か」「学びをどう実践するか」などの問いと向き合いました。入学当初は明確でなかったやりたいことも，「フレッシュマンコア」の科目を通して，長所や短所，適性のある職業などを発見することができ，進みたい学類を決定することができました。2 年次は価値創造デザイン学類に進み，1 年次に身に着けた幅広い知識を生かして実践的に学んでいきたいです。

萱場真愛さん（事業構想学群）　宮城県泉高等学校出身

Classes【授業紹介】

地域フィールドワーク

地域社会について座学を中心に学びつつ，グループ単位のフィールドワークで地域課題の発見とその解決に取り組みます。地域に関する知識やフィールドワーク手法の習得だけでなく，地域社会の将来に対する学生の使命感を涵養し，主体的な学びへと促すことも目的の一つです。

1. 講 義
初回講義では，フィールドワークの位置づけや意義を確認し，訪問時の心構えやマナー等のリテラシーを修得します。

2. グループ演習
事前にヒアリングの練習を実施したうえで，グループ単位で各訪問先を訪れ，ヒアリングとフィールドワークを実施します。

3. フィールドワーク
グループに分かれて，訪問先の方から地域の特徴や見所を解説していただくなど，地域に関する知識や理解を深めます。

4. グループ演習／発表
フィールドワークの背景，目的，調査結果，分析をまとめた成果物を作成し，学生相互に発表して意見交換を行います。

Student Voice

個々の課題解決力を重ね合わせ，よりよい学びを

2020 年の地域フィールドワークは，新型コロナウイルスの影響でオンライン開催でした。不安でしたが，役場の方々の説明は丁寧で，私たちからの質問に回答する時間を多く設けていただいたおかげで，地域社会への理解を深めることができました。また，地域経済分析システム「RESAS」などを用いた地域分析の手法を担当教員が紹介してくれたこともあり，実りの多いフィールドワークとなりました。今後は事業プランニング学類で，新たなビジネスの創出や管理について学ぼうと思っています。個々人の持つ課題解決力を重ね合わせながらよりよい学びを得たいです。

安藤拓巳さん（事業構想学群）　東北高校出身

学群・学類での学び

宮城大学では，2017 年度入学者より，学群・学類制による新たな教育を展開しています。このことにより，学類の垣根を越えてバリエーション豊かな専門教育が受けられるようになりました。
また，入学者の募集単位も「学群単位」「学類単位」の２つを設定しています。

一般選抜と学校推薦型選抜は，「学群単位」の募集となりますので，事業構想学群と食産業学群の学生は，入学後１年間をかけてじっくりと自らが進む専門分野（学類）を選択し，１年次の終わりに所属する学類が決定されます。
（看護学群は１学類のため，全員が看護学類で学ぶこととなります。）

看護学群	事業構想学群	食産業学群
看護学類	事業プランニング学類 地域創生学類 価値創造デザイン学類	生物生産学類 フードマネジメント学類

●大学に入学する前に学びたい分野が決まっている

●大学に入学してから学ぶ分野を決めたい

※看護学群は１学類のため，全員が看護学類で学ぶこととなります。

学類配属について（一般選抜・学校推薦型選抜で入学された方）

所属学群ごとに，学生一人ひとりが自分としっかり向き合いながら，担当教員と一緒に１年かけて考えていきます。
１年次の学修成果（１年次の成績や希望学類に関するレポート，面接等を予定）による選考を行い，学類配属を決定していきます。

オリエンテーション［4 月］	学群・学類による４年間の学びを見通し，学類配属にかかるスケジュールや手続き等について説明します。	予備調査・面談［4〜1 月］	希望学類についての予備調査を複数回実施します。予備調査の結果等を踏まえ，担当教員と面談を重ねながら，それぞれの興味や関心に合った専門分野（学類）についての理解を深めていきます。
学類配属ガイダンス［10 月］	前期試験の成績発表を受けて，学類配属についてのガイダンスを実施します。	希望学類の届出・学類配属の決定［2〜3 月］	後期試験の成績発表後，2 月から３月にかけて希望学類の届出を行います。選考の結果，最終的な学類は３月末までに決定されます。

※スケジュール等は変更になる場合があります。

School of Nursing

看護学群

看護学類 入学定員 95 名

入学者に求める能力

(1) 人や地域社会，看護に関心を持っている人
(2) 人の喜び，苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち，人との関係を大切にできる人
(3) 科学的探究心を持ち，主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
(4) 国の内外を問わず，看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

看護学群は，生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて，科学的思考とマネジメント能力を持ち，ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し，地域の人々，多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格（選択）
- 養護教諭一種免許状（選択）

卒業時に取得できる資格・免許は，「看護師国家試験受験資格」が全員，保健師教育課程を選択した学生は「保健師国家試験受験資格」，養護教諭教育課程を選択した学生は「養護教諭一種免許状」を取得できます。

人間力を基盤に，新たな時代の看護を創造し，実践できる看護専門職を目指す

今，社会は大きく変化しています。医療においても，遺伝子や人工知能技術の利用等，想像の世界を超え，現実として利用される時代が到来しています。このような中で，看護専門職は，何を行っていくのでしょうか。看護には，４つの基本的責任があると言われています。それは，健康を増進し，疾病を予防し，健康を回復し，苦痛を緩和することです。健康を求める看護のニーズはあらゆる人々に普遍的です。看護専門職には，ニーズに対応できる時代に応じた知識，対象の状況を理解しようとする共感性や柔軟性，必要な看護を考える創造力，関係者と協働しながら展開できる推進力が求められます。本学では，地域フィールドワークや看護学実習等の科目で，様々な人と対話しながら，看護専門職の基盤となる人間力を培います。新たな時代の看護を創造し，実践できる看護職を共に目指しましょう。

看護学群 学群長
高橋和子 教授

看護学類

看護学の基盤となる知識・技術を身につける「専門基礎科目」と，
看護学の専門性を深め，拡げる「専門科目」を学年進行に沿って体系的に配置しています。

国際看護プログラム

グローバルな看護職を目指す学生のためのプログラムです。学生が各自ポートフォリオを作成しながら，所定の英語科目と看護専門科目により４年間学び続けます。「実践看護英語演習」では，海外の大学の看護プログラムや医療機関で２週間の研修や学生交流を行います。国際交流を通じて看護学の面白さをさらに実感できます。

災害看護プログラム

災害サイクル各期において支援ができる看護職を目指す学生が，災害看護の基礎的知識と技術を身につけるためのプログラムです。学生は学修を進めるにあたり，１年次から学びの振り返りができるポートフォリオを作成しながら，指定された科目を学びます。また，その学びを活かした災害看護関連のボランティア活動を行うことでさらに深い学びが可能です。

看護学群のキャリア支援　学生一人ひとりの自己実現のために，そして看護職として自律した社会人となれるようキャリア支援を行っています。

卒業後の進路
- 病院や施設・地域で働く看護師
- 小・中・高・特別支援学校の養護教諭
- 自治体や企業の保健師
- 大学院や助産師養成校への進学

キャリア教育

４年次に学生自身が進路決定できるように，１年次からキャリア開発教育を通して学修します。具体的には，１年次から３年次まで行われる「キャリアガイダンス」，「医療機関等研究セミナー」，「公務員セミナー」，「養護教諭セミナー」を開催します。その中で個々の学生が，自らの適性を考え職業の選択ができる能力を育成します。

就職・進学相談

４年次はキャリア開発担当教員により，学生が希望する進路について「個別相談」を計画的に行います。また，キャリア開発室の進路指導員による就職試験に向けたエントリーシート作成支援や面接対策など，きめ細かな支援を行います。

国家試験対策

「看護師」「保健師」の資格は，国家試験の合格をもって得られる資格です。４年次には，定期的に模擬試験とその解説会を行い，学びを定着させます。また，国家試験直前対策として教員による学習会を行うなど，合格に向けてのサポート体制を構築しています。

看護学類

Nursing with a Look to the Future.

看護専門職としての基礎能力を身につけながら，

同時に看護に大切な“豊かな人間性”と“高い倫理観”を育み，

病院はもちろん，地域・在宅等で広く活躍できる看護職へ。

人の多様性を知って看護実践する力をつけよう

病院，在宅，地域，学校，企業等の多くの場で，看護が求められています。様々な場には，乳幼児，学童，青年，社会人，高齢者と年代の異なる人々がいます。看護学は，人のすべての年代の特徴を知り，体を知り，心を知り，社会や環境との関係における健康を知って，活動する学問です。看護学群４年間では，多様な場，多様な人々の健康を考え，援助を経験し，看護を必要とする人と共に歩む基礎能力を身につけます。1 年次の講義・フィールドワークを通じて養う，広い視野で人や環境を見つめる力と，学生自身が自己成長する力が，看護専門能力を高める土台となります。2〜4 年次での学修で重要なことは，看護の専門知識を蓄えること，看護を実践する力を持つこと，看護の専門性を追求することです。今後の多様な社会に対応し，成長し続ける看護専門職を目指していきましょう。

看護学群 副学群長
菅原よしえ教授

看護職として社会で活躍できるように，キャリア形成の基盤を総合的にサポート

看護の基本的な技術を学修するためのナーシング・ラボ

Student Voice【学生の声】

看護学類 八木美祐さん
秋田県立横手高校出身

Student Voice

クラスでの討論を通して「相手を受け入れる力」を学ぶ

宮城大学にはクラスごとに分かれて行う少人数の授業があり，テーマに沿って討論する機会もあります。そこでは，自分の意見を述べる力だけでなく，相手の意見を引き出す力や相手を受け入れる力などの総合的な力を身につけることができます。看護職はコミュニケーションを大切にする仕事なので，ここで実践的に学んだことは，今後も役に立つと感じています。また，クラスは担任制なので，悩んだ時はすぐに担任の先生に相談できることも心の支えになりました。私は「災害看護プログラム」で災害時における看護職の役割，処置や対応法を学んでいます。日本は災害が多く，災害時の看護職の対応が重視されていますが，大学でこうしたプログラムが学べるのも，被災した宮城県の大学だからこそだと思います。

Qualifications【資格取得について】

看護師国家試験合格率（第 110 回：全国平均 95.4%） 100%

看護師国家試験受験資格

看護師国家試験を受験することができる資格です。国家試験に合格することで看護師として働くことができます。看護師は 医療の第一線で活躍しており，ときには患者の精神的支えになるなど，病院内での役割は大きい仕事です。高齢社会に向けて，ますます需要は高まっています。

保健師国家試験合格率（第 107 回：全国平均 97.4%） 100%

保健師国家試験受験資格

保健師国家試験を受験することができる資格です。国家試験に合格することで保健師として働くことができます。健康に関する相談を受けたり，指導や健康診断を行うなど，主に病気予防に関わる活動に従事しており，健康・保健知識の啓蒙活動を通じて，住民の生活向上を図る重要な役割を果たしています。

養護教諭一種免許状

小・中・高等学校・特別支援学校において，児童・生徒の心身の健康管理を行うと同時に，学校の保健教育の担い手にもなっています。いわゆる「保健室の先生」です。

※保健師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状は選択制です。いずれか一方を選択できます。

看護学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次 前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
看護の基礎を学ぶ

人間力を高め，広く深く学び続ける力を養成する

［基盤教育科目の例］ ●地域フィールドワーク ●スタートアップセミナーI・II ●English GatewayI・II ●情報化社会と技術 など

看護に必要な基礎的な科目について学ぶ

［専門教育科目の例］ ●人間発達学 ●看護学原論 ●形態機能学I・II・III ●看護技術論 ●公衆衛生学 ●ライフステージ看護学概論I など

1年次 後期

基礎看護学実習（I段階）

2年次 前期

知識を深め，実践力を身につける

看護の基盤となる専門基礎科目・看護専門科目について学ぶ

［専門教育科目の例］ ●栄養学 ●看護技術各論 ●疾病論I・II・III ●看護実践論 ●病態学 ●成人看護援助論I ●保健行動科学 ●在宅看護援助論I ●老年看護援助論I ●精神看護援助論I ●小児看護援助論I ●地域看護学概論 ●母性看護援助論I ●ライフステージ看護学概論II など

2年次 後期

基礎看護学実習（II段階）

実践的な看護展開について学ぶ

［専門教育科目の例］ ●成人看護援助論II・III ●在宅看護援助論II ●老年看護援助論II ●精神看護援助論II ●小児看護援助論II ●母性看護援助論II ●看護マネジメントI など

3年次 前期

様々な健康レベルにある対象に対応できる看護の実践能力を養う：領域別看護学実習

3年次 後期

成人看護学実習・老年看護学実習・地域看護学実習・看護マネジメント実習
在宅看護学実習・母性看護学実習・小児看護学実習・精神看護学実習

4年次 前期

自らの専門的知識と学際的思考をより深める

対象や場に応じた看護を行うための総合的実践力を修得する

総合実習

4年次 後期

自らの専門的知識と学際的思考力をより深める

［専門教育科目の例］ ●卒業研究I・II ●看護学研究法 ●看護マネジメントII など

プログラム選択：災害看護プログラム／国際看護プログラム

教育課程選択：養護教諭教育課程 ※選択制／保健師教育課程 ※選択制

養護教諭一種免許状取得／保健師国家試験受験資格取得

卒業後の進路

看護師国家試験受験資格取得

看護学類ディプロマ・ポリシーへの到達＝卒業

看護師	保健師	養護教諭	進学
病院／施設／地域	自治体／企業	小・中・高・特別支援学校	宮城大学大学院／他大学大学院 助産師養成校／海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

地域での実習経験を役立て市民に寄り添える保健師に

岩沼市健康福祉部健康増進課
健康対策係
小野寺皐月さん（2017年3月卒業）

乳幼児から高齢者の方まで，市民の皆さんの健康増進に関わる仕事を多岐にわたり行っています。たくさんの市民の方と関わっていろいろなお話を聞いたり，お悩みを共有したり，お子さんの成長を一緒に喜んだりできることにやりがいを感じます。地元の大学で地域を見ながら学修したいという思いがあり宮城大学に入学しましたが，就職してから強く感じたのは，さまざまな病院，地域での実習経験が大変役立っているということです。自分で考える力をつけることができ，多様な意見や考えに触れて視野が広がり，いろいろな視点から物事を捉えられるようになったと思います。まだまだ分からないことも失敗することもありますが，先輩方に助けてもらい，教えてもらいながら経験を重ねていろいろなことを吸収し，地域に寄り添い，市民に寄り添える保健師に成長していければと思います。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

看護師	71.7%	東北大学病院 / 東北医科薬科大学病院 / 大崎市民病院 / 国立病院機構仙台医療センター / 国立病院機構宮城病院 / 仙台市立病院 / 宮城県立がんセンター / 宮城県立こども病院 /JCHO 仙台病院 / 石巻赤十字病院 / 仙台オープン病院 / 国見台病院 / 仙台赤十字病院 / 東北公済病院 / 東北福祉大学せんだんホスピタル / 松田病院 / 東京歯科大学市川総合病院 / 横浜市立大学附属病院 / 順天堂大学医学部附属順天堂医院 / 昭和大学附属病院 / 神奈川県立こども医療センター / 神奈川県立循環器呼吸器病センター / 国立がん研究センター中央病院 / 国立国際医療研究センター病院 / 武蔵野赤十字病院 / 大阪回生病院 / がん研究会有明病院 /JA 秋田厚生連 /JCHO 東京蒲田医療センター / セコム訪問看護ステーション / 虎の門病院 など
保健師	13.1%	宮城県 / 仙台市 / 大郷町 / 南三陸町 / 亘理町 / 青森市 / 大船渡市（岩手県）/ みやぎ県南中核病院企業団 みやぎ県南中核病院
養護教諭	6.1%	宮城県 / 青森県 / 岩手県 / 山形県 / 栃木県 / 群馬県
進学	8.1%	日本赤十字看護大学大学院 修士課程国際保健助産学専攻 / 仙台医療センター附属仙台看護助産学校 助産学科 / 福島県立総合衛生学院 助産学科
その他	1.0%	

進路データは，2021年3月19日現在 小数点以下第2位を四捨五入

MYU SUPPORT FOR STUDENTS #1

学生のみなさんが安心して大学生活を送ることができるよう，様々なサポート体制を用意しています。

入試に関する気になること・わからないこと，いつでもご相談ください。

適切かつ円滑な入学者選抜を目指して。
アドミッションセンター

アドミッションセンターは 2017 年 4 月に宮城大学における入試改革に関する事業を推進する目的で設置されました。当センターは，本学のアドミッションポリシーに即した入学者を適切に確保するために，入学者選抜の基本方針の策定，入学者選抜に関する調査研究および入試分析，入試に関する広報活動および相談，入学者選抜の円滑な実施に関する総括を行い，本学の教育研究の充実発展に寄与することを目的としています。

日々の大学生活や学修，健康面など，気軽にご相談ください。

あらゆる面から学生を親身にサポート。
スチューデントサービスセンター

スチューデントサービスセンターは，学生のみなさんの大学生活を支援するセンターです。学修についての支援はもちろん，サークル活動の支援やアルバイトなど大学外での生活についての支援も行っています。大学生として一人ひとりが自主的・積極的に学生生活を送っていくことを支援するセンターです。学生のみなさんの自主的な利用が基本ですが，出席や成績状況などから個別に面談を行うこともあります。

ココロとカラダの両面をサポート。
健康支援室

学生が安心して充実した大学生活を送ることができるように，健康面からサポートしており，大和キャンパス・太白キャンパスの教員・保健指導員・カウンセラーが所属しています。体と心の健康についての疑問や悩みなどがありましたら，一人で抱え込まずに，健康支援室（保健室・学生相談室）へ気軽に相談にいらしてください。相談内容の秘密は守ります。スタッフ一同，学生のみなさんの力になれるよう，共に考えていきたいと思っています。
※障がいを有する学生や禁煙に関するサポートもしています。

事業構想学群

School of Project Design

事業プランニング学類 入学定員 60 名
地域創生学類 入学定員 60 名
価値創造デザイン学類 入学定員 80 名

入学者に求める能力

(1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き，自ら問題を発掘し，論理的に考え，表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
(2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち，高度な知識とスキルを身につけることによって地域社会に貢献することを目指す人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

事業構想学群では，現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え，その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに，地域資源の活用や新たな価値創造を志向し，産業，行政，社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

●簿記検定 ●公認会計士 ●税理士
●技術士 ●防災士 ●中小企業診断士
●ITパスポート試験 ●WEBデザイナー
●建築士 ●インテリアプランナー

社会保険労務士／司法書士／宅地建物取引士／総合旅行業務取扱管理者／基本（応用）情報技術者／統計検定／銀行業務検定／色彩検定／マルチメディア検定／ CG クリエーター／ CG エンジニア／画像処理エンジニア／福祉住環境コーディネーター／認定ファシリティマネジャー 等
※めざせる資格は学類ごとに異なります。

地域の社会・文化に立脚し，世界に繋がる人材育成を目指す「知の拠点」

事業構想学群は，これまでの長い歴史の中で受け継ぎ発展させてきた生活や社会，文化や環境を守り育（はぐく）み，それらを未来に譲り渡していくための様々な活動（Project）を，新たな挑戦や意欲的な創意工夫とともに構築（Design）し，多様な実践とともに学ぶことができる学群です。この学群には 3 つの学類があります。魅力的な人生を支えていくための生業（なりわい）の創出を推進する「事業プランニング」，賑わいと愛情に溢れた地域社会の創生を思考する「地域創生」，そして世界の本質を探究し，叡智を結集させたものづくりを学ぶ「価値創造デザイン」。ここで学ぶ学生さんたちには，学年が進むにつれそれぞれの専門分野に特化した研究・学修を深めていく機会が与えられますが，相互横断的に他の分野の知見を自らの就学の糧として身につけながら行動力のある臨機応変な未来人として成長していけるよう，最善を尽くしていきたいと思います。

事業構想学群 学群長
中田千彦教授

事業プランニング学類

入学者に求める能力

新たな発想に基づき，実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち，その際に必要となる，情報・データの読解，論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し，新たなビジネスモデルの構築と運営できる能力（事業プランニング力）を育成します。

地域創生学類

入学者に求める能力

多様化・複雑化する地域社会の諸問題に対して強い関心を持ち，その課題解決に向けて思考・分析を行うとともに，地域活性化を目指すまちづくりや産業育成，それを動かす人・組織のデザイン，そして持続可能な環境に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

現実の社会で顕在化している諸問題を分析し，地域資源を活用することで新たな地域を創生する能力を育成します。

価値創造デザイン学類

入学者に求める能力

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や，人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や情報コミュニケーションをデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

人間の感性や地域の資源に応じた新しい価値を創造できるサービス・生活環境・製品（ものづくり）を探究創造する能力（価値創造デザイン力）を育成します。

事業プランニング学類

Making Business Innovations Happen.

時代が大きく変化しニーズが多様化する現代社会において，成功している企業は

どのような戦略をとり，どのように組織を動かしてビジネスを行っているのか。

様々な事例を通し，その論理と思考を基にした実践知を身につける。

新しいビジネス価値創造をプランニングできる人材の育成

国際化，高度情報化社会の進展は，留まることを知りません。ビジネス現場は，これまでに経験したことのない新たな変革への対応を迫られ続けています。
事業プランニング学類では，時代に求められる事業プランニングのできる人材育成のため，実践的な調査・分析手法と学術的な論理的思考を修得するとともに，新規性・独自性の高いビジネスモデルなどの事例を研究し，構想力を高めるような教育をしています。新たな時代を切り拓くビジネスリーダーとして，計画・実践力のある人材輩出を目指しています。

事業プランニング学類 学類長
金子浩一教授

事業創出に向けて専門領域を深める学び

Classes【授業紹介】

経営組織論

『組織』，それは人類の創造した最高の「叡智」です。ここでは，組織の構造，デザイン，ダイナミクス，そして組織を構成する人間の意識と行動が研究の対象です。Sony，資生堂，Google，国境なき医師団，オルフェウス管弦楽団，スタジオジブリ，NPO 法人ユニークフェイス，NERV(ネルフ)，調査兵団，ジオン公国など多様な組織を考察します。さらに，「アスカ」のストレス構造の抽出，「ミカサ」のモティベーション高度の測定など，いろいろな適応が可能です。組織は，我と彼の境界を越えて我々を実現します。

会計情報を活用して企業経営を読み解く

わが国の企業は，グローバル競争の激化や少子高齢化による国内市場の縮小といった厳しい環境に対応して，持続的な成長を続けなければなりません。この成長を実現する一手段として，会計情報の単独での活用ではなく，企業の経営戦略にリンクさせた会計情報の活用が求められています。この活用ができる人材の育成に向けて，幅広い会計知識の教授はもちろんのこと，事例研究およびクラスディスカッション等を通じた会計知識の活用方法の検討に至るまで多角的な講義展開を行っています。

中田想良さん
宮城県仙台二華高校出身

Student Voice

経営戦略などの知識を活かして分析し，企業にプレゼン

ゼミでは管理会計を専攻し，輪読やプロジェクトワークを通して会計学の知識を深めました。特にプロジェクトワークでは，講義で学んだ経営戦略や会計学などの知識を活用して自動車業界や紙・パルプ業界の分析を行い，実際に企業にプレゼンテーションを行うなど貴重な経験ができました。

主な学べる分野

経営財務・金融／経営学・組織論／
経営戦略／法学／経済学／
マーケティング／社会システム／
社会調査／ eビジネス／会計学

MYU Seminars【研究室紹介】

大嶋研究室

デジタル経営学とリーダーシップ

AI 時代に必須の実践経営学を学び，産学連携プロジェクトで戦略立案やマーケティングを実行しながら，リーダーシップ能力を磨きます。観光促進活動にも力を入れています。

徳永研究室

実社会のシステム効率化を考える

自治体バスや介護事業など，実社会における事業を対象に，利用者のニーズ分析に基づいたサービス提供方策や限られた資源制約の下での効率的運営について考え，提案します。

糟谷研究室

情報を収集・分析し活用する

データを分析しその結果を正しく解釈できれば，社会の変化に対応できます。人々が社会に参加する上で，満足度の高い事業モデルを構築するにはどうすれば良いか探求します。

事業プランニング学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

専門基礎科目を学ぶ

全学共通科目

後期

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ

［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●事業プランニング基礎 ●地域創生基礎 ●価値創造デザイン基礎

学類配属の決定

2年次

前期

専門基礎科目を学ぶ

ビジネスに関する基礎理論，ビジネスを取り巻く環境を分析する手法を学ぶ

［開講科目例］ ●経営学概論 ●ビジネスモデル論 ●ビジネスコミュニケーション ●ミクロ経済学 ●消費者心理学 ●スタートアップ経営論

後期

専門科目を学ぶ

事業戦略系科目

新たな事業を創出し，持続可能なものとするための戦略的な手法を学ぶ

［開講科目例］
●ビジネスと情報 ●経営戦略論
●マーケティング ●e ビジネス

事業管理系科目

事業資源を有機的に結びつけ，管理する理論と技術を学ぶ

［開講科目例］
●簿記会計 ●金融論 ●経営組織論
●財務会計 ●経営財務

専門関連科目（他学類の専門科目も学ぶ）

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

3年次

前期

ゼミ選択

専門科目の学びを深める

●販売促進 ●マーケティングリサーチ
●現代企業論 ●ビジネスプロセス論

●管理会計 ●人的資源管理論
●CSR・CSV ●意思決定会計

相互に科目選択可能

後期

4年次

前期

卒業研究

後期

グローバル化・情報化する社会の中で新たな事業を創出し，
それらを持続可能なものとするための知識や考え方を持つ人材をめざす

卒業後の進路

- **民間企業**：総合職／専門職等
- **公務員**：国税専門官／地方自治体等
- **経営者**：起業／事業継承士業（公認会計士）等
- **進学**：宮城大学大学院／他大学大学院 海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

クリエイティビティーを軸に東北をもっとおもしろくする

株式会社東北博報堂
栗原渉さん（2014年3月卒業）

東北を中心とする企業の広告や商品，サービスを生み出すお手伝いをしています。いわゆるプランナーですが，テレビCMやウェブサイトを制作したり，コピーライティングをしたり，事業戦略を立てたり，クリエイティビティーを軸に何でもやっています。なじみの企業や商品のお手伝いができて，それがダイレクトに自分や周りの人たちの生活に影響を与えているのが肌で感じられる仕事です。宮城大学では，広告会社の方の講義やメーカーのマーケティング部署との協働プロジェクトなどがあり，刺激的で自分の将来にワクワクできて，大学生活を楽しくしてくれました。ビジネスとデザインやエンジニアリングが隣り合わせなのが宮城大学ならではのポイントで，それが今の仕事にも活かされています。これからも「東北って，おもしろいよね」と言ってもらえるような仕掛けをしていきたいです。

進路データ

進路データ

		主な進路実績の一例（順不同）
情報通信業	19.7%	ソフトバンク㈱/富士通㈱/㈱NTTデータ東北/㈱日立ソリューションズ東日本/㈱クリークアンドリバー/NECネクサソリューションズ㈱/㈱ドーン
金融業・保険業	18.1%	㈱日本政策投資銀行/㈱七十七銀行/あいおいニッセイ同和損害保険㈱/日本生命保険相互会社
卸売・小売業	13.1%	イオンリテール㈱/キヤノンマーケティングジャパン㈱/カメイ㈱/㈱クリエイトエスディー
他サービス業	13.1%	㈱マクロミル/㈱フォーバル/㈱マイナビ
製造業	11.5%	アイリスオーヤマ㈱/㈱アイチコーポレーション/日本冶金工業㈱
公務	6.6%	仙台国税局/宮城県
学術研究，専門・技術サービス業	6.6%	㈱リンクアンドモチベーション/デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム㈱
建設業	4.9%	太平電業㈱/東洋建設㈱/㈱NIPPO
電気・ガス・熱供給・水道業	1.6%	東北電力㈱
不動産業・物品賃貸	1.6%	㈱トーシンパートナーズ
宿泊業・飲食サービス業	1.6%	㈱近畿日本ツーリスト東北
進学	1.6%	宮城大学大学院事業構想学研究科

進路データは，2021年3月19日現在 小数点以下第2位を四捨五入

地域創生学類

Creating Sustainable Society.

災害や人口減少を始め，地域の様々な課題をいかに自分事として解決していくか。

社会課題解決に寄与する事業創造や地域政策，それらの根拠を導く科学的分析手法を学び，

ソーシャル・イノベーションをもたらす原動力となり，社会に貢献する人材を育てる。

地域創生のためのプロジェクト・デザイン

世界の課題をビジネスや政策で次々と解決し，社会を豊かで持続的なものにするために何を学べばよいでしょうか。地域に一歩踏み出すと，直面している問題と原因の関係の複雑さや，人々の考え方や生き方の多様さに衝撃を受けます。地域創生学類では「人・社会・環境」をテーマに，問題解決のための政策やビジネス，プロジェクトについて学び，体験し，地域の創造的発展を探究します。問題を的確に捉え，先を見据え，解決策を提示する高度な能力が求められます。そのために，物事や事象を分解して捉えられる知識とスキルを養います。同時に，向き合いたい地域やモノ・コトに出会い，対話し，実践し，失敗し，また学びましょう。地域との関わりは生涯続きます。学び方を学び，関わり方を修得して，学び続けながら社会に貢献できるプログラムを準備して，みなさんをお待ちしています。

地域創生学類 学類長
石田祐教授

フィールドワークを通して，地域課題の解決をより実践的に学ぶ

MYU labs【研究室紹介】

藤澤研究室

地域における人と人とのつながり ソーシャル・キャピタルと地域創生

藤澤研究室では，ソーシャル・キャピタルを「自分自身や周りの人々に，ポジティブな効果をもたらす特殊な人間関係（ソーシャル・ネットワーク）」として捉え，人間関係の地域社会やコミュニティに及ぼす影響に関する実証的な検証をしています。人間関係には，二者間のミクロ的な関係から，集団から構成されるマクロ的な関係まで非常に多様です。直接的に目視できない関係性を可視化する方法論の検討も併せて行います。さらにソーシャル・キャピタルがもたらす，社会的および経済的な豊かさの効果を，どのように引き出すか，政策提案や，高齢化社会における社会関係に関するモデルの提示なども行います。

郷古研究室

グリーンインフラとしての農業・農村を未来に繋ぐ

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において，自然環境が有する多様な機能を活用し，持続可能で魅力ある国土・地域づくりを進める取り組みとしてグリーンインフラが注目されています。多様な機能には洪水防止，水源涵養，文化，景観，教育，観光なども含まれ，その宝庫が農業・農村です。しかし，それらを持続可能なものとするためには，農村に人が住み，農業を営むコミュニティの維持が必要です。郷古研究室では，グリーンインフラとしての農業・農村を未来に繋いでいくための農地・農業水利施設の整備技術や管理の仕組み，そしてそれらを活用した開発途上国への技術協力を中心として，実際のフィールドで農業・農村の課題解決の理論と実践を学びます。

山本知宙さん
宮城県富谷高校出身

Student Voice

多様な切り口で「地域」を見ると，新しい気づきが見えてくる

地域を取り巻く課題の切り口は，経済，行政，交通など様々です。それら多くの学びの過程ではそれまで知らなかった事柄にも興味が湧いたり，知識の幅を広げられました。趣味の旅行で日本各地を見学する際にも，それまで見えなかったものが見えるようになり楽しく思っています。

Classes【授業紹介】

地域環境政策

様々な課題が顕在化する地域での取り組み

人の生存や地域経済の基盤となる環境が日々変化しています。その変化を理解し，必要な対応が求められます。国や地域等様々な立場から，また，野生生物や，農村づくり，国家政策等の多様な局面で，地域の環境を活かし，持続的で魅力的な地域づくりを進めていく事例に学びます。

地域資源論

創り出そう，私たちの地域ブランド！

今ある地域資源を素材に，時には最先端の技術を組み合わせて，各地で新たな地域ブランドが数多く生み出されています。秀逸な地域ブランドを創り出すには何度も試行錯誤を重ねる必要があります。本講義では，ワークショップを取り入れながら，実践的に地域資源の活用法を学びます。

地域創生学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

専門基礎科目を学ぶ

全学共通科目

後期

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ

［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●事業プランニング基礎 ●地域創生基礎 ●価値創造デザイン基礎

学類配属の決定

2年次

前期

専門基礎・専門基幹・関連科目を学ぶ

社会の仕組みを理解し，人々の意識・行動特性を分析する手法を学ぶ

学類共通・専門基礎科目

［開講科目例］ ●データサイエンス ●コミュニティ・プランナー実践論 ●地域学 ●地域実践演習

後期

専門基幹科目

［開講科目例］ ●地域プロジェクトマネジメント ●地域学 ●地域調査法 ●国土・地域計画 ●公共経営 ●グローカル共生論 ●非営利経営論 ●地域資源論 ●ソーシャルビジネスプロデュース ●レジリエンスとビジネス ●ローカルベンチャー論 ●地域復興デザイン ●環境地理学

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

3年次

前期

ゼミ選択

専門科目の学びを深める

学類共通・専門基礎科目

［開講科目例］ ●キャリアデザイン ●コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習

後期

専門基幹科目

［開講科目例］ ●災害の科学（水） ●災害の科学（土） ●地域産業政策 ●地域環境政策 ●地域環境計測 ●地理情報分析 ●防災計画 ●国際協力論 ●ツーリズムデザイン ●景観工学 ●社会起業論 ●農業農村振興論 ●ソーシャル・キャピタル ●ボランティア論 ●地理情報分析 ●政策実証分析 ●評価論

4年次

前期

卒業研究

後期

科学的なアプローチで地域課題を明確にし，
都市・農村政策や協働のまちづくりを通して，地域活性化に貢献できる人材をめざす

卒業後の進路

総合職
観光／インフラ
住宅・不動産／IT・通信等

公務員
国家／地方

進学
宮城大学大学院／他大学大学院
海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

フィールドワークを通して得た課題解決能力で復興に貢献

宮城県気仙沼地方振興事務所
水産漁港部漁港漁場第一班技師
引地達也さん（2016年3月卒業）

名取市生まれの私は，自分が東日本大震災で被災した経験から震災復興に携わる仕事をしたいと考え，震災関係の活動・研究に力を入れている宮城大学を選びました。卒業後は宮城県に入庁し，現在は被災した漁港の復旧工事や防潮堤工事を担当しています。計画，設計，積算，工事監督，地元説明会など全てに関わっているので大変ではありますが，自分で考えて仕事を進めることができますし，工事が完成して現場を見た時は大きな達成感が得られます。宮城大学は現場での学び，フィールドワークが充実しており，地域の課題を肌で感じ，自分で考えることで学びを深めることができました。その学びを通して得た課題発見力・解決力が，仕事での課題解決の基礎となっています。これからも生まれ育った宮城の復旧・復興，そしてさらなる発展のため，県政に貢献したいと考えています。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

情報通信業	25.0%	㈱NTTデータ東北/㈱NTT東日本-東北/㈱富士通マーケティング/㈱東京商工リサーチ/日本システム技術㈱/パーソルプロセス＆テクノロジー㈱/㈱ＯＳＫ
卸売・小売業	16.7%	イオンリテール㈱/JKホールディングス㈱/㈱ヨドバシカメラ/みやぎ生活協同組合
他サービス業	11.7%	カルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱/宮城県商工会連合会
公務	10.0%	宮城県 / 仙台市 / 栗原市
金融業・保険業	8.3%	㈱七十七銀行 / ㈱仙台銀行 / 宮城県信用保証協会 / 明治安田生命保険相互会社
運輸業・郵便業	8.3%	東日本旅客鉄道㈱ / 三陸運輸㈱
不動産業	5.0%	三菱地所リアルエステートサービス㈱ / 積水ハウス不動産東北㈱
学術研究，専門・技術サービス業	5.0%	㈱旭ブレインズ
電気・ガス・熱供給・水道業	3.3%	東北電力㈱
複合サービス事業	3.3%	全国農業協同組合連合会宮城県支部
製造業	1.7%	㈱川本製作所
進学	1.7%	宮城大学大学院事業構想学研究科

進路データは，2021年3月19日現在 小数点以下第2位を四捨五入

価値創造デザイン学類

Creating “New Value & Design” for the Society.

情報・環境デザインを通して，新しい価値をどう生み出していくか。

日々変化する社会環境を観察し，デザインが担う役割を学びながら，

多様な課題を解決へと導く論理的思考力と表現力を身につける。

デザインの学びは実践にあり

中国の古典『韓非子』に「三人言いて虎を成す」という言葉があります。街に虎が出たという信じがたい話も，三人が口を揃えると本当のこととして伝わってしまう，伝聞を鵜呑みにすることを戒める言葉です。玉石混淆の情報に溢れた現代社会にこそ強く響く言葉だと思います。物事の本質を見極める方法は今も昔も変わりません。それは自分自身の知恵を使って考え，体験を通して感じることに他なりません。現代では情報技術によって「知恵」は広く共有できるようになりました。一方で，肉体的な体験はまだまだ一人ひとりの実際の経験に根ざしています。デザインの学びには，この知恵を体験として感じること，つまり実践が非常に大切です。自分で考え，それをカタチにしていく力こそが物事の本質を見抜く能力となり，本当の自由を手にする礎になるのです。

価値創造デザイン学類 学類長
土岐謙次教授

基礎理論からつくる技術，そして価値を生み出す実践力まで幅広く養う

Classes【授業紹介】

1. 感性情報デザイン演習 III

ユーザーを意識した体験のデザイン

インタラクティブ作品制作と展示会企画を通じてデザインを統合的・実践的に学びます。

2. 造形・プロダクトデザイン演習 I

パラメトリックデザイン手法で椅子制作

宮城県登米市産の杉材を用いて，CNC 加工機を駆使し，木製椅子を制作します。

3. 生活環境デザイン演習

実践で学ぶ，生活環境デザイン

生活環境に新たな価値をもたらす都市空間等の構想プロセス・理論を学びます。

一級建築士受験のための指定科目に認定

価値創造デザイン学類のカリキュラムが一級建築士の科目としての認定を受けました。これにより，所定の単位を修得すると，一級・二級・木造建築士を受験できます。

瀬川りささん
仙台市立仙台商業高校出身

Student Voice

先生に相談しやすく，研究に集中できるデザイン研究棟

設備や学習環境においてよいところは，専門性の高いソフトウェアや，3D プリンタやレーザーカッターが使えることです。デザイン研究棟では専門分野の近い先生同士が一つのフロアに研究室を構えていて相談や質問に行きやすく，研究に集中できる場が提供されていることも利点です。

制作設備・施設一覧

製図や模型製作が行える製図室／高性能 PC が整ったデザインラボ／レーザーカッターや 3D プリンタといったデジタルファブリケーション機器を備えた材料実験室／演習ではクリエイター向けソフト「Adobe Creative Cloud」や CAD が利用可能

MYU labs【研究室紹介】

小地沢研究室

都市や社会をデザインするためのデザイン

多くの人たちが利用する空間や施設などを勝手気ままにデザインするのではなく，確かな根拠に基づいたデザインとなるよう，調査・研究・分析を行い，その成果を都市空間や公共施設，社会制度の設計に活かしています。

蒔苗研究室

仮想世界から未来の情報環境を考える

コンピュータ上に創られた 3 次元仮想空間をバーチャルリアリティやデジタルゲームの技術を用いて体験したり，現実空間と仮想空間を融合させたシステムの構築を通して，未来の情報環境のあり方を考えます。

価値創造デザイン学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ

専門基礎科目を学ぶ

後期

事業構想の概念と手法の基礎を学ぶ

［開講科目例］ ●事業構想学概論 ●事業プランニング基礎 ●地域創生基礎 ●価値創造デザイン基礎

全学共通科目

学類配属の決定

2年次

前期

専門基礎科目を学ぶ

人間の感性や認知特性等の基礎理論や，地域資源を活かしたデザイン原理を学ぶ

［開講科目例］ ●価値創造デザイン演習 ●情報と環境 ●色彩と形態 ●身体と認識

コースを選択

専門科目を学ぶ

後期

感性情報デザインコース

人間感性と情報技術をつなぐメディア開発と，ものづくりの理論や技術を学ぶ

［開講科目例］ ●フィジカルコンピューティング ●ウェブプログラミング ●コンピュータアルゴリズム ●感性情報デザイン演習Ⅱ

生活環境デザインコース

建築分野を中心に，生活環境に新たな付加価値をもたらす理論と技術を学ぶ

［開講科目例］ ●建築計画 ●生活環境工学 ●生活環境デザイン演習Ⅱ ●建築一般構造

●コミュニティ・プランナー ●グローバルインターンシップ ●学外研修等

3年次

前期

共通基幹科目

［開講科目例］ ●プロダクトデザイン ●感性デザイン評価法 ●価値創造デザイン特別演習Ⅰ・Ⅱ

ゼミ選択

後期

専門科目の学びを深める

［開講科目例］ ●インタフェースデザイン ●ウェブデザイン ●コンピュータグラフィクス ●情報構造と可視化 ●地区・街区計画 ●スマートシティ論 ●サステイナブルデザイン ●編集・広告デザイン ●エクスペリエンスデザイン ●ファシリティマネジメント

4年次

前期

卒業研究

後期

人間の感性や地域の自然・文化などを汲みとり，
情報デザイン・環境デザインを通じて新たな価値を生むことができる人材をめざす

卒業後の進路

建設関連
意匠設計／施工管理
都市コンサルティング等

情報通信関連
システム設計
アプリ開発等

クリエイティブ関連
UI/UX デザイン／ウェブデザイン
グラフィックデザイン等

進学
宮城大学大学院／他大学大学院
海外留学等

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

大学で培ったデザインの力で人の心と暮らしを豊かに

富士通株式会社デザインセンター
チーフデザイナー
小室理沙さん（2012年3月卒業）

サービスデザイナーとして，デジタルやソリューションビジネスにおける次世代サービスの構想立案と導入のサポートをしています。複雑に絡み合った問題に対し，人を中心に解きほぐして考えることで暮らしを良くするサービスを提供できるのがこの仕事の醍醐味（だいごみ）です。今の時代，多分野のスキル・知識を持っていることや分野間の連携が必要だとされます。それを学生のうちに体験できるのが，多様な人がいて多様なことが学べる宮城大学の良さだと感じています。私もそれが今の仕事に活かされていて，問題を発見する力やアイデアを形にする創造力，様々な人と共創するためのコミュニケーション力など，デザインにおける総合力が培われました。デザインで人の心と暮らしを豊かにすることが目標で，未来の生活での当たり前となるものをつくっていきたいです。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

情報通信業	31.4%	NTT 東日本グループ㈱ / ㈱日立ソリューションズ東日本 / 富士ソフト㈱ / 東北放送㈱ / 東北インフォメーション・システムズ㈱ / ㈱メンバーズ / 日本文教出版㈱
建設業	17.2%	積水ハウス㈱ / ㈱長谷工コーポレーション / ㈱西松建設 / 仙建工業㈱ / 高砂熱学工業㈱
製造業	7.2%	トヨタ自動車東日本㈱ / アルプスアルパイン㈱ / 北日本電線㈱
他サービス業	7.1%	㈱マクロミル / ㈱コマデン / 大和電設工業㈱
卸売・小売業	7.1%	㈱サンゲツ / ㈱ツルハ / さが美グループホールディングス㈱
金融業・保険業	5.7%	㈱七十七銀行 / ㈱岩手銀行 / ㈱青森銀行
学術研究，専門・技術サービス業	4.3%	㈱横河ブリッジホールディングス / ㈱ BWORKS
不動産業・物品賃貸	2.9%	セキスイハイム東北㈱
医療・福祉	2.9%	一般社団法人宮城保健企画つばさ薬局
教育・学習支援業	2.9%	㈱フーレイ
電気・ガス・熱供給・水道業	1.4%	東北電力㈱
運輸業・郵便業	1.4%	東日本旅客鉄道㈱
公務	1.4%	仙台市
生活関連サービス業・娯楽業	1.4%	㈱ RUSH
進学	5.7%	宮城大学大学院事業構想学研究科 / 九州大学大学院

進路データは，2021年3月19日現在 小数点以下第2位を四捨五入

MYU SUPPORT FOR STUDENTS #2

学生のみなさんが安心して大学生活を送ることができるよう，様々なサポート体制を用意しています。

学修や研究活動，学生アクティビティなど，幅広くご活用ください。

学術情報コンテンツの集積・発信から独自のソフト事業まで。
学術情報センター（図書館）

学術情報センターは，大和・太白キャンパス図書館を所管しており，図書や論文，視聴覚資料など学術資料の収集・提供を通じて本学の教育・研究・学修支援に取り組んでいます。近年では，資料の収集・提供のみならず，学内の研究成果等を集積してデジタルアーカイブの構築を進め，学外に向けた情報発信にも力を入れています。学術資料については，電子化を進めるなど，様々な資料を効果的に活用してもらうための工夫をするとともに，2014 年からはイベント「六限の図書館」の開催など，新しい図書館の魅力を発信しています。

思い描いているキャリア・将来のこと，ご相談ください。

学生に寄り添ったキャリア形成支援。
キャリア・インターンシップセンター

宮城大学では，基盤教育や専門教育に加えて，インターンシップを含めたキャリア教育の充実を図るため，キャリア・インターンシップセンター（CIC）を設置しています。本センターでは，「キャリア教育支援プログラム」，「インターンシッププログラム」，「専門の職員による進路相談及び就職支援」を柱に，1 年次より 4 年間を通して学生のキャリア形成に向けた活動をサポートしています。大学教職員が一体となり，みなさんをバックアップしていきます。

地域とともに，未来を共創

あらゆるステークホルダーと共創し地域の発展に貢献
研究推進・地域未来共創センター

研究推進・地域未来共創センターは，宮城大学の横断的な教育・研究の成果や知的財産を活用し，地域の企業，自治体，学術・研究機関，金融機関等との連携を進めながら，新たな研究開発や地域未来共創プロジェクトを推進することで，真に豊かで持続可能な地域社会の実現を目指します。また，東北・宮城の様々な地域の資源や人材を新たな発想と視座から連携し，地域未来共創を推進するプラットフォームを構築していきます。

食産業学群

School of Food Industrial Sciences

生物生産学類　入学定員 62 名
フードマネジメント学類　入学定員 63 名

入学者に求める能力

(1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち，自然科学の基礎知識を身につけている人
(2) 論理的に考える力を修得し，食の安全・安心，環境との調和などの課題解決に取り組みたい人
(3) 地域社会の一員として，さらには世界的な観点から食産業を考え，その発展に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

食産業学群では，食につながる生物生産とその供給から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い専門的知識と技術を持ち，食産業全体を理解し，地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

めざせる資格・免許等

- **食品衛生監視員**
  所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に取得可能
- **食品衛生管理者**
  所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に取得可能
- **HACCP管理者**
  所定科目の単位取得により取得可能
- **食の6次産業化プロデューサー**
  所定科目の単位取得により，「わかる（知識）」のレベル 2 として認定

「食」を文理融合で学び，将来の食産業を支える人材を育成する

食産業学は，農畜水産物の「生産」から「食品加工」「流通」「サービス」，そして「消費」に至るまでの全てをカバーする学問です。美味しく，安全・安心で，栄養価に優れ，しかも簡便な食料品が求められる昨今，SDGs に謳われる飢餓の撲滅や海や陸の豊かさを守る目標の達成を視野に入れながら，スマート農畜水産やフードテックを活用した持続可能な食産業を目指しています。具体には高生産性で病気に強い農畜水産物，保存性に優れ健康にも役立つ加工食品，高齢者が食べ易い食品などの開発を，消費行動を的確に把握するための最新のマーケティング理論や食感性科学の研究を取り入れながら進め，教育にも活かしています。食産業学群では，これまでに食品産業関連企業や官公庁に 1700 余名の卒業生が巣立ち，「食」に関わる課題を解決できるリーダーとして活躍しております。みなさん，食産業学を文理融合で学べる日本唯一の食産業学群で，我々教員と共に学び成長していきましょう。

食産業学群 学群長
西川正純教授

生物生産学類

入学者に求める能力

生物資源開発や生産環境技術，経営を通して，持続的な食料生産とその供給に強い関心を持ち，食産業の幅広い専門的知識と技術を身につけ，社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

地域の生物資源の高付加価値化や生産方法に関する知識・技術を養い，科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して，未来を開拓できる能力を育成します。

フードマネジメント学類

入学者に求める能力

食の製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて，サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ，社会に貢献しようとする人

大学教育を通じて発展・向上させる能力

フードシステムの構築に必要なサイエンスとビジネスの両面の知識・技術を養い，科学的素養に基づきながら地域資源を活用し国際的視点で食産業の課題を自発的に解決して，未来を開拓できる能力を育成します。

生物生産学類

Committed to Bring Innovations to the Farms of the Future

今，“食”を支える農業は変革の時。バイオサイエンス，植物・動物・水圏生物の生産科学から
IoTやAIを活用する生産環境情報，生産ビジネスまで，食の生産を網羅する多様な分野を広く，深く学び，
生産のイノベーションで食の未来を創造する。

分野横断的教育研究で挑む！未来の食材生産

世界的な人口増加に伴う需要の増大，地球規模の気候変動など，食料生産は多くの問題に直面しています。また国内では，大規模化，自動化など，生産方式が大きく変化しつつあります。新分野を加えて食資源開発学類から生まれ変わる“生物生産学類”では，6つの履修モデルを設定し，社会の変化に対応できる柔軟なカリキュラムを展開しています。最先端の基礎科学や情報技術，ビジネス分野の新しい科目をはじめ，食の生産に関する多様な科目を配置していますので，将来の進路に合わせて科目を選択して履修することで，生物生産に関する幅広い知識や技術を身につけることができます。新生“生物生産学類”で，持続可能な食料生産を考え，食の未来を切り拓いていきましょう。

食資源開発学類 学類長
中村茂雄教授
※食資源開発学類は，令和4年4月より生物生産学類に変わります。

Classes【授業紹介】

座学に加え，実験・実習を通して体験することで，学びをより深める

乳と卵の生産科学，肉の生産科学
食を支える牛豚鶏の生産を学ぶ
朝の食卓にある牛乳や卵と夕食を飾るお肉について，生産法と機能性等を専門的に学びます。

農業経済学
農業の経済的側面を考える
世界および国内における食料・農業・農村の問題について経済学の理論を用いて考えます。

発生遺伝学
発生と遺伝のメカニズムを解く
動植物の個体発生はどのような遺伝子にプログラムされている？そのしくみを読み解きます。

水産生物学実験実習
水棲生物の生理，生態を学ぶ
持続可能な水産業の実現に向けて水棲生物の増養殖に関する基礎知識や技術を学びます。

暮らしと作物
衣・食・住を支える作物を学ぶ
私たちの暮らしを支えている様々な作物の歴史や生育特性，生産，加工技術を学びます。

プログラミング基礎
高度なデータ管理・解析・活用
データ収集からグラフ化，データ分析までの知識と基礎技術を学びます。

色川七瀬さん
宮城県宮城野高校出身

Student Voice

食資源全般について，実習を通して肌で感じながら学ぶ

生物生産学類は，植物，動物，水産などの生産について，実習などを通して肌で感じながら学べるところが良いところだと思います。私自身は特に宮城県におけるホタテガイ養殖の課題解決に取り組んでいます。先生方との距離も近いので，意欲さえあれば幅広い食の知識を得られる環境です。

取得できる資格

食品衛生監視員
食品衛生管理者
HACCP管理者
食の6次産業化プロデューサー

所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に上記の資格が取得できる予定です。

MYU labs【研究室紹介】

川島研究室
社会科学の視点から考えるこれからの農業
農業は産業であり，経済活動であるため，これからの農業を考えるにあたり経済学的な視点は必要不可欠です。本研究室では，思考の枠組みとして経済学を学び，仮説を検証するための道具として統計学を学びます。これからの農業について，さまざま仮説を思考し，データに基づいて検証しています。

鳥羽研究室
イネを理解して，将来に向けた新しいお米を開発する
美味しいお米を安定的に生産したい。そのために本研究室では，イネの種まき，田植え，収穫までを徹底的に調査し，イネを誰よりも詳しく理解し，イネの秘めたるチカラを最大限引き出す品種開発を目指しています。時には長靴を履き，時には白衣を着て，日々イネと向き合っています。

生物生産学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期

【専門基礎科目】
食産業学の基礎を学び，生産や加工の基本を理解する
［開講科目例］ ●食材生産概論 ●科学基礎実験

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
大学での学びに必要な基礎的なスキルを身につける
［開講科目例］ ●スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ ●地域フィールドワーク ●食と社会

後期

学類配属の決定

2年次

前期

6つの履修モデルから1つの履修モデルを選択し，専門科目の学びを開始
生産に関わるあらゆる分野の基礎を総合的に学ぶ

【専門基礎科目】
［開講科目例］
●応用統計学
●地域食産業論
●専門基礎実験

自らの進路に向けて専門科目を選択し，履修モデルを設計
［開講科目例］

生産ビジネス	植物生産	動物生産
●農業経済学 ●アグリビジネス論	●植物生理学 ●植物生産実験実習	●動物生殖学 ●動物生産基礎実験
水圏生物生産	**生産環境情報**	**バイオサイエンス**
●水棲動物学 ●水棲植物学	●生産環境保全学 ●アグロテクノロジー	●発生遺伝学 ●分子生物学

【基盤教育科目】
［開講科目例］
●基礎統計学Ⅱ
●University English

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］ ●食品企業経営論 ●フードサービス産業論

後期

3年次

前期

将来像を見据えて科目を選択し，座学と実験実習を通して分野横断的に深く学ぶ

［開講科目例］分野を横断しながら柔軟に科目を履修する

研究室選択

生産ビジネス	植物生産	動物生産
●生物資源経済学 ●食材生産経営戦略 ●農業経営経済学演習	●施設園芸学 ●暮らしと作物 ●農業経営経済学演習	●乳と卵の生産科学 ●動物生産管理学 ●動物性食材生産実験実習
水圏生物生産	**生産環境情報**	**バイオサイエンス**
●水産増殖学 ●水産資源生態学 ●水産生物学実験実習	●生産環境情報学 ●プログラミング基礎 ●生産環境情報学実験実習	●生理学 ●環境微生物学工学 ●植物機能開発実験実習

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］ ●栄養科学 ●食産業政策論 ●食感性科学 ●食品の安全性管理

後期

4年次

前期

卒業研究を中心に実践的な課題解決に自ら取り組む
［開講科目例］ ●卒業研究Ⅰ

後期

卒業研究を完遂し，卒業研究発表会で発表する＝4年間の学びの集大成
［開講科目例］ ●卒業研究Ⅱ

卒業後の進路

- 商社の農畜水産物バイヤー
- 農業IT企業のスマート農業技術職
- 乳・肉加工メーカーの商品開発職
- 水産企業の技術職や営業職
- 公的研究機関の技術職
- 進学

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

農と食を実践的に学ぶことで強くなった農業貢献への思い

宮城県職員
山内歩実さん（2013年3月卒業）

宮城県の農業職採用で入庁し，現在は研究職としてイネ，ムギ，大豆種子の元種（もとだね）となる原種や，原種の元種となる原原種の生産に関する業務を担当しています。自然と触れ合いながら仕事ができるのが楽しく，自分の努力や勉強次第で高品質な種子生産につながったり，生産過程をより良くできたりするのがうれしいです。高校時代，「自給自足をしたい」という夢があり，農と食を実践的に学ぶことができるところを探していました。まさに宮城大学は，大学内部と付属の坪沼農場での実習・実践に力を入れていて，研究と現場のどちらも学ぶことができました。植物・動物・経営などを幅広く学び，その中で自分のしたいことが徐々に見えてきたのを覚えています。今後も研究職や行政職として経験を重ね，いずれは現場の農業指導に関わる普及職として農家さんに近い目線で働きたいです。

進路データ

進路データ

主な進路実績の一例（順不同）

卸売・小売業	25.0%	青葉化成㈱ / イオンリテール㈱ / ㈱コメリ / ㈱ドトールコーヒー / 東日本フード㈱ / ㈱やまや / ㈱ライフフーズ
製造業	16.0%	伊藤ハムデイリー㈱ / 井村屋グループ㈱ / キユーピー㈱ / トヨタ自動車東日本㈱ / 丸美屋食品工業㈱ / 理研ビタミン㈱
金融業・保険業	8.9%	㈱北日本銀行 / ㈱七十七銀行 / 東北労働金庫
学術研究，専門・技術サービス業	7.1%	㈱LSIメディエンス / 独立行政法人家畜改良センター / 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
公務	7.1%	千葉県 / 東京都特別区 / 宮城県 / 山形県
農業，林業	3.6%	㈱アグリテクノ / ㈱埼玉種畜牧場
建設業	3.6%	セキスイハイム東北㈱
複合サービス事業	3.6%	全国大学生活協同組合連合会 / 全国農業協同組合連合会新潟県本部
その他サービス業	3.6%	㈱アイティ・コミュニケーションズ
情報通信業	1.8%	㈱シンカーミクセル
運輸業，郵便業	1.8%	東日本旅客鉄道㈱
宿泊業，飲食サービス業	1.8%	日本ケンタッキー・フライド・チキン㈱
生活関連サービス業，娯楽業	1.8%	㈱ファクトリージャパングループ
進学	14.3%	宮城大学大学院食産業学研究科

進路データは，2021年3月19日現在 小数点以下第2位を四捨五入

フードマネジメント学類

Food Is Something You Know, but Don't Know, so Learn about It!

人間の生命維持だけでなく，人生の充実に深く関わる「食」。

知っているようで知らないさまざまな「食」の知識・技術・魅力について

最先端のサイエンスとビジネスの両面から徹底的に学ぶ。

Eat, Learn, and Change Yourself !

フードマネジメント学類では，食に関する幅広い知識・技術・魅力を学ぶことができます。サイエンスとビジネス，「文理融合」，これが食を理解するためにみなさん達が活用可能な学びの環境です。1・2年次で基礎を修得した後，3年次にはフードビジネスコースとフードサイエンスコースに分かれ専門性の高い科目を学びますが，コースを超えた履修も可能です。さらに4年間の集大成としての卒業研究と学類全員参加での発表会が催され，活発な質疑応答が行われます。授業や課外活動の一環として，県内外の企業等と共同で「商品開発」やイベントのお手伝いを行うなど，食に関する実践的な活動も行われています。みなさん達がふだん何気なく目にしたり食べているあのお菓子やあの食品，実はフードマネジメント学類の学生や卒業生が作ったものかもしれません。

フードマネジメント学類 学類長
三石誠司教授

マーケットのわかる技術者，技術のわかるマーケッターを育てる

Classes【授業紹介】

1. 食産業政策論

食品の生産から消費までのルール

食品が生産され消費者に届くまでには，様々な仕組みや法律が背景にあります。そのルールブックを適用実例も交えて実践的に学びます。

2. 品質保証システム演習

現場で使える HACCP プランを作成

「安全」は食の基本。HACCP システムの仕組みからプラン構築まで，演習形式でしっかり学びます。

3. 食品マーケティング論

マーケティング視点で食を捉える

マーケティング論の主要な概念を修得し，食産業の課題にどう適用できるのかを考え，自ら活用できるようになることを目指します。

4. 食材生産・加工実習Ⅱ

食品の「加工」を体験して学ぶ

この実習では食材を加工して様々な食品を作ります。ポイントは，プロセスを意識し，そこで起こる様々な変化を理解していくことです。

今野桜さん
福島県立橘高校出身

Student Voice

実習やゲスト講師から得た学びを，図書館で深める

食品加工実習などの授業では，実際に缶詰や笹かまぼこなど家では作れない食品を製造し，製造原理などについて体験しながら学びました。食品業界で活躍するゲスト講師の方による授業もとても勉強になります。図書館の蔵書が豊富で，授業内容をすぐに深められることも魅力です。

取得できる資格

食品衛生監視員
食品衛生管理者
HACCP管理者
食の6次産業化プロデューサー

所定科目の単位を取得し，卒業後，所定の要件を満たした場合に上記の資格が取得できる予定です。

MYU labs【研究室紹介】

森田研究室

食べることの意味を人間の生と社会から考える

食べることはその生理的作用のみならず社会や人間の意識に意味づけられた活動でもあります。本研究室では，経済・技術のみならず社会，文化，歴史や民俗などから「人間の生とは？」「社会とは？」を問いつつ，現代社会における食の意味を批判的に問い直すという作業を行っています。

石川研究室

「料理と科学のおいしい出会い」を探る

食材の変化がおいしさにどのように関与するのかなど，調理現象の科学的根拠の解明を行っています。料理のおいしさは，食べるヒトと食べられるモノをともに分子レベルで解き明かしていくことが求められています。調理の科学的知見を集積する「分子調理学」の体系化を目指しています。

フードマネジメント学類：4年間の学び

Curriculum【4年間の学び】

1年次

前期 / 後期

【専門基礎科目】
食産業学の基礎を学び，製造・加工やビジネスの基本を理解する
［開講科目例］ ●科学基礎実験 ●経済経営学基礎

「フレッシュマンコア」を中心とした基盤教育科目を学ぶ
大学での学びに必要な基礎的なスキルを身につける
［開講科目例］ ●スタートアップセミナーⅠ・Ⅱ ●地域フィールドワーク ●食と社会

学類配属の決定

2年次

前期 / 後期

自分の関心や目的に応じて専門基礎科目や専門科目を柔軟に選択し，
理論と実験実習を通してフードマネジメント全体の基礎的分野を身につける

【専門基礎科目】
［開講科目例］
●食品マーケティング基礎
●地域食産業論
●分析基礎実験

［開講科目例］ビジネスとサイエンスの両分野について履修する
【専門科目】

●食料経済論	●地域食産業論	●有機化学	●農産食品学
●食品企業経営論	●フードサービス産業論	●生化学	●食品化学
●食品企業組織論	●食品流通論	●栄養科学	●食品工学

【基盤教育科目】
［開講科目例］
●基礎統計学Ⅱ
●University English

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］ ●食用作物学 ●アグロテクノロジー

3年次

前期 / 後期

4つの履修モデルを参考に自分で専門科目を選択し，学びを自分向けにカスタマイズ
フードマネジメントの専門分野をより深く学ぶ

［開講科目例］ビジネスとサイエンスの両分野について履修する

研究室選択

食品製造・加工モデル
●食品化学工学
●食品貯蔵・流通技術論
●発酵食品・醸造学
●品質保証システム演習

食品開発モデル
●食品機能開発学
●食感性科学
●食品栄養・機能学実験
●フードシステム調査演習

食の安全・安心モデル
●食産業政策論
●フードコミュニケーション
●食品の安全性管理
●食品衛生学実験

食品流通・サービスモデル
●食品マーケティング論
●食品企業経営戦略論
●フードサービス産業論
●食品経済・政策論演習

専門分野に関連する科目 ［開講科目例］ ●乳と卵の生産科学 ●暮らしと作物 ●水産増殖学 ●環境科学

4年次

前期

ゼミでの卒業研究を中心に実践的な課題解決に自ら取り組む
［開講科目例］ ●卒業研究Ⅰ

後期

卒業研究を完遂し，卒業研究発表会で発表する＝4年間の学びの集大成
［開講科目例］ ●卒業研究Ⅱ ●食と未来

卒業後の進路

- 食品製造業，食品流通業およびフードサービス産業における **技術・製造開発者**
- 食品製造業や外食産業などで新商品の企画や開発を行う **技術者・プランナー**
- 食品リサイクル，食品ロス，SDGsなどについて取り組む **ビジネスリーダー**
- 食品製造業，食品流通業およびフードサービスで活躍する **ビジネスリーダー**
- **進学**

社会で活躍する卒業生

Graduates【卒業生の活躍】

研究で知った発酵の力で おいしさの感動を届けたい

アサヒグループ食品株式会社
研究開発本部商品開発一部
長田彩加さん（2014年3月卒業）

みそ汁やスープのフリーズドライ食品の研究開発を行っています。コンセプトに沿った味を考え，試作し，具材の選定や処理方法を検討し，製造基準書の作成もしています。さまざまな課題をクリアして無事に商品を世の中に送り出し，消費者の方々においしいと言ってもらえることに最高の喜びを感じます。私は宮城大学での卒業研究を通じて発酵の素晴らしさを実感し，発酵食品に興味を持ち，この仕事に就きたいと思いました。宮城大学は技術の分かるマーケター，マーケティングが分かる技術者の育成を掲げており，文系も理系も両方学べます。私も最終的には理系に進みましたが，マーケティングの知識もあるおかげで会社の会議でも開発側から提案を持ち掛けることができています。老若男女それぞれの世代で愛され，感動した記憶が残り続ける。そんな商品をつくっていきたいです。

進路データ

進路データ		主な進路実績の一例（順不同）
製造業	30.5%	アイリスオーヤマ㈱ / 伊藤ハムデイリー㈱ / 日本食研ホールディングス㈱ / 亀田製菓㈱ / ㈱でん六 / 不二製油㈱ / ㈱マルハニチロリテールサービス
卸売・小売業	28.8%	国分東北㈱ / ㈱ヨークベニマル / 伊藤ハムミート販売東㈱ / ㈱日本アクセス / 東日本フード㈱ / ㈱モスフードサービス / ㈱ロック・フィールド
情報通信業	8.4%	㈱NTT ファシリティーズ東北 / ㈱システムネットワーク
複合サービス事業	5.1%	とちぎコープ生活協同組合 / みやぎ生活協同組合
その他サービス業	5.1%	JR 東日本東北総合サービス㈱
学術研究，専門・技術サービス業	3.4%	㈱日本微生物研究所
宿泊業・飲食サービス業	3.4%	エームサービス㈱
公務	3.4%	秋田県 / 塩竈市
不動産業・物品賃貸業	1.7%	スターツコーポレーション㈱
教育・学習支援業	1.7%	㈱フーレイ
進学	8.5%	宮城大学大学院食産業学研究科

進路データは，2021年3月19日現在 小数点以下第2位を四捨五入

国際交流・海外ネットワーク

PUSH, PULL, and GROW.

国際交流は，①学生を海外の多文化空間に（PUSH），②留学生・多文化空間を宮城大学に（PULL），そして，③海外だけでなく日本のキャンパスでも多文化理解力を醸成する（GROW），これらをコンセプトに学生が教職員とともに「ワクワク感」をもってグローバル・ステージで活躍できるよう国際交流を進めています。このように，宮城大学では，協定校をはじめとした海外留学，海外からの留学生の受け入れ，キャンパス内に設置したグローバルコモンズでの多文化交流などを通して，１年中「グローバル」を体験することができます。

宮城大学の海外ネットワーク 2021年3月時点

■学生の主な海外派遣先
フィンランド，米国，ベトナム，オーストラリア

■海外留学生の主な出身国
中国，韓国，ベトナム，マレーシア，モンゴル，台湾

国際交流・海外学修プログラム

宮城大学海外交換留学支援プログラム

アーカンソー大学フォートスミス校（米国）やトゥルク応用科学大学（フィンランド）など海外協定校において，１学期もしくは１年程度，原則として本学での専攻を生かした教育プログラムを履修することができます。英語によるコミュニケーションスキルの向上のみならず，現地の文化や習慣，専攻分野での知見を深めることにより，将来グローバル・ステージで活躍できる有能な人的資源として必要な能力を獲得することを目指します。

リアル・アジア

マレーシア，オーストラリア等で約２週間，協定校大学などにおいて，英語・文化研修を実施するほか，現地企業 / 組織訪問を行います。単なる英会話ではなく，英語を通して現地の社会経済状況を学修し，PBL（問題解決型学習）の手法も活用しながら実践的なプログラムを構築しています。この短期研修を体験することで，社会でも通用する積極性や協調性，グローバルコミュニケーション能力などを養います。

大学院 Graduate School

学びをさらに深め，高度な研究能力を養う充実した環境があります。

	看護学研究科	事業構想学研究科	食産業学研究科
博士前期課程	基盤看護学分野 成熟期看護学分野 次世代育成看護学分野 広域看護学分野	ビジネスデザイン領域 ソーシャルデザイン領域 空間デザイン領域 情報デザイン領域	食品イノベーション領域 食品ビジネスマネジメント分野／食品技術開発分野 農・環境イノベーション領域 生物生産分野／生物環境分野
博士後期課程	生涯健康支援看護学分野	産業・事業システム領域 地域・社会システム領域	食品研究領域 農・環境研究領域

学生数

学群（学部）	学類（学科）	1年	2年	3年	4年	合計
看護学群(学部)	看護学類	104	102	98	102	406
事業構想学群(学部)	事業計画学科				9	9
	デザイン情報学科		1	1	11	13
	学類未配属者	185				185
	事業プランニング学類	10	68	65	60	203
	地域創生学類	8	64	62	59	193
	価値創造デザイン学類	10	87	87	73	257
食産業学群(学部)	ファームビジネス学科			1		1
	フードビジネス学科				5	5
	学類未配属者	110				110
	食資源開発学類	13	66	64	57	200
	フードマネジメント学類	11	69	65	61	206
					合計	1,788

研究科	課程	1年	2年	3年	合計
看護学研究科	博士前期課程	13	8	–	21
	博士後期課程	1	1	7	9
事業構想学研究科	博士前期課程	11	8	–	19
	博士後期課程	1	2	4	7
食産業学研究科	博士前期課程	10	8	–	18
	博士後期課程	1	3	4	8
				合計	82

※2020年度学校基本調査から抜粋

入学金・学費・奨学金 学費・入学時における学生諸経費（2020年度実績）

入学金	県内出身者	282,000円
	県外出身者	564,000円
入学時学生諸経費	看護学群	68,315円
	事業構想学群	47,660円
	食産業学群	47,660円
	※研究科(保険料のみ)	2,430円～13,500円
授業料	年額	535,800円（前期・後期，半額ずつ納付）
	納付時期※	［前期］ 4月30日（2020年度は8月31日） ［後期］ 10月31日（2020年度は12月25日）

授業料の減免等制度（2020年度時点）

減免（本学独自制度）	一定基準以上の成績及び経済的要件を満たす場合，申請により，全額又は半額免除される場合があります。
分割納付	経済的理由で授業料の一括納付が困難な場合，申請により，分割納付を認める場合があります。
納付猶予	経済的理由で授業料を指定納期までに納付することが困難な場合，申請により，納付猶予を認める場合があります。

宮城大学は，高等教育の修学支援新制度の対象校です。
【高等教育の修学支援新制度：https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm】

奨学金制度（独立行政法人日本学生支援機構奨学金）

独立行政法人 日本学生支援機構 奨学金

高校等での予約採用以外は，毎年４月に説明会を行い，奨学生を募集します。貸与金額等の詳細は，日本学生支援機構Webサイトをご確認ください。

日本学生支援機構Webサイト
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html
※貸与期間：採用年度から標準修業年まで。

その他の奨学金

各種団体等の奨学金は，随時学内掲示板等でお知らせします。

大和キャンパス

大和キャンパスは，自然と共生し，地域に開かれた大学としてデザインされました。人が自然とふれあう泉パークタウンと，県内有数の工業エリアである大和リサーチパークに隣接しています。近隣には，県立図書館や産業技術総合センターなどの施設もあり，研究に最適な環境です。

①本部棟　②ブリッジ棟　③エントランス広場　④交流棟　⑤体育館　⑥サークル室棟　⑦材料実験棟　⑧グラウンド　⑨北側駐車場　⑩デザイン研究棟

太白キャンパス

太白キャンパスは，太白山山麓の住宅街に位置し，学内農場である旗立農場を擁する自然豊かなキャンパスです。
近隣の附属坪沼農場を含めた個性豊かな教育施設群の中で，様々な視点から「食」を学ぶことができます。

①体育館　②テニスコート　③レストラン棟　④南サークル棟　⑤北サークル棟　⑥動物代謝棟　⑦動物実験棟　⑧駐車場　⑨管理棟　⑩学生会館メモリアルホール40
⑪多目的ホール　⑫講義棟　⑬ガラス温室　⑭運動場　⑮実験棟　⑯南研究棟　⑰北研究棟　⑱食品加工棟　⑲水利実験棟　⑳リサイクル棟　㉑材料実験棟　㉒水産実験棟

ONLINE OPEN CAMPUS

宮城大学を［知る］［学ぶ］［感じる］

MYU ONLINE OPEN CAMPUS

各学群・学類の紹介，模擬講義など豊富なコンテンツで宮城大学を体験することができます。追加コンテンツも順次公開していきます。

Routes to Campuses［アクセス］

大和キャンパス

大学本部／看護学群／事業構想学群
大学院看護学研究科／大学院事業構想学研究科

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑１番地１
宮城大学事務局（大学全般）Tel 022-377-8205（代表）Fax 022-377-8282

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約 15 分，「泉中央駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「泉中央駅」バスプール３番又は６番から，宮城交通バス
「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）で約 30 分～ 35 分，
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

「仙台駅前」バスプール２番から，宮城交通バス「宮城大学」行き約 50 分，
「宮城大学・仙台保健福祉専門学校前」下車

太白キャンパス

食産業学群／大学院食産業学研究科

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立二丁目２番１号
宮城大学事務局（太白事務室）Tel 022-245-2211（代表）Fax 022-245-1534

○仙台市地下鉄
南北線「仙台駅」から約 10 分，「長町南駅」下車。バスに乗り換え

○バス利用
「長町南駅・太白区役所前」バスプール４番から，宮城交通バス「日本平」行き
又は「仙台南ニュータウン」行きで約 20 分，「宮城大学太白キャンパス前」下車

「仙台駅前」バスプール７番から，宮城交通バス「日本平」行き
又は「仙台南ニュータウン」行きで約 40 分，「宮城大学太白キャンパス前」下車

宮城大学 大学案内 2022
企画・編集：宮城大学 広報ワーキンググループ／デザイン：株式会社フロット
撮影：渡辺然（Strobelight），株式会社フロット／印刷：田宮印刷株式会社

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY